

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市用之江334番地
協議会名	城見地区まちづくり協議会
協議会長名	会長 藤井 清二

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 48 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 578,673 円  
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
630,000	578,673	0	51,327

2 交付金が減額変更になった理由

高齢者見守り活動で一部予定通り実施できてない地区があった。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書  
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし駆除対策
前年からの繰越金	○あり      ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	住民主体によるいのしし被害減少を図る
【効果】	各地区でいのしし駆除グループが組織されることで地域全体の一体感も深まり、いのしし捕獲により被害が減少する。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日      ～      令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

城見地区(茂平、用之江、大宜)

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 70 人 (ア+イ)  
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 10 人 (ア)  
 その他関係人数(当日参加者等)： 60 人 (イ)  
 ○団体： (団体名) 茂平いのしし駆除グループ, (団体名) 用之江いのしし駆除グループ  
 (団体名) 大宜いのしし駆除グループ, (団体名) 各地区自治会  
 (茂平、用之江、大宜)

5 実施内容

広報誌にてグループの活動状況を報告する  
 捕獲罠を組み立てる  
 捕獲罠を設置して管理(巡回点検、エサの設置)する  
 捕獲罠の修繕作業  
 他地域駆除グループとの連携、交流、知識交換

6 決算額

391,737 円 (うち交付金分 391,737 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	期間中のいのしし捕獲頭数 165頭で、広報誌に報告した。 農業被害等は減少傾向である。 いのししの減少に伴い、大見山登山道整備を実施して、大見山新年登山が再開出来た。
【課題】	県境付近では福山市方面からいのししが移動してきて農業被害が増えているとの報告があり、福山市で駆除対策をされている方々との協力が必要となっている。 小動物による農作物被害も目立ち始めた。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし駆除対策

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 392,000	391,737	263	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	392,000	391,737	263	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	380,000	282,223	97,777	〃
役務費		2,000	△ 2,000	〃
使用料及び賃借料	12,000	0	12,000	〃
備品購入費		107,514	△ 107,514	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	392,000	391,737	263	決算額のうち市交付金分 ② 391,737

市交付金の余剰金 ①-② 263 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 263 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 いのしし駆除対策

費目	需用費	食糧費
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	11	27	かとう酒店	大見山登山道整備時お茶100円×24	2,400	2,400
2	4	12	26	かとう酒店	大見山登山道整備時お茶100円×24	2,400	4,800
3	5	1	7	コスモス福山大門店	大見山登山時飲み物(コーヒー、昆布茶、甘酒)	1,703	6,503
4	5	1	9	かとう酒店	大見山登山時飲み物お茶100円×48	4,800	11,303
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						11,303	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 いのしし駆除対策

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	9	11	ホリデイ	農材料(鉄筋、メッシュ、ロックボルト)	66,771	66,771
2	4	9	13	ホリデイ	ワイヤークリップ180円×14本	2,772	69,543
3	4	11	2	茂平いのしし駆除グループ	狩猟免許諸経費	55,080	124,623
4	4	11	2	用之江いのしし駆除グループ	狩猟免許諸経費	59,170	183,793
5	4	11	2	大宜いのしし駆除グループ	狩猟免許諸経費	50,380	234,173
6	4	11	25	ホリデイ	混合油1780円×4、チップソー5枚2380円×4	18,304	252,477
7	4	11	26	ホリデイ	チェーンソーオイル898円×2	1,975	254,452
8	4	12	8	コスモス福山大門店	大見山簡易トイレ掃除用具(トイレブラシ、ほうき、手袋)	1,612	256,064
9	4	12	16	Amazon	大見山簡易トイレ用消臭剤3本セット	3,218	259,282
10	4	12	28	モノタロウ	大見山登山時保温ポット2台	11,638	270,920
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						270,920	

# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                              いのしし駆除対策

費目	役務費	保険料
----	-----	-----

No.                                      1                                      ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4			さかもと保険	大見山登山道整備時1日保険	2,000	2,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						2,000	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 いのしし駆除対策

費目 備品購入費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	9	11	(有)日本一安い罾の店	受信機、発信機5台、暗視カメラ	69,630	69,630
2	4	12	22	(有)日本一安い罾の店	受信機 1台、発信機6台	37,884	107,514
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						107,514	

## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	いのしし駆除対策

活動目的	住民主体によるいのしし被害減少を図る
実施内容	広報誌にてグループの活動状況を報告する 捕獲罟を組み立てる 捕獲罟を設置して管理(巡回点検、エサの設置)する 捕獲罟の修繕作業 他地域駆除グループとの連携、交流、知識交換

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 期間中のいのしし捕獲頭数 165頭で、広報誌に報告した。 農業被害等は減少傾向である。 いのししの減少に伴い、大見山登山道整備を実施して、大見山新年登山が再開出来た。	<b>現状と課題</b> 県境付近では福山市方面からいのししが移動してきて農業被害が増えているとの報告があり、福山市で駆除対策をされている方々との協力が必要となっている。 小動物による農作物被害も目立ち始めた。
---	---

**今後の活動の方向性・改善策**

今後も今年度と同様の活動を続ける。  
福山市の駆除対策ををされている方々と連携、協力しながら県境付近の駆除を進める。  
大見山登山道整備を継続して、新年登山をする。



様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災・安全安心活動
前年からの繰越金	○あり      ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	防災活動を通じ、地区住民の防災意識の向上・知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団と連携し、防災について学び、自助・共助の力を培う。 インターネット・SNSの弊害を学び、子ども達を守る知識の浸透を図る。
【効果】	地区住民の防災意識の向上と災害時の対応力を高めることができる。 活動を通じ、住民同士の助け合いの意識が生まれる。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日      ～      令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 〃 年中 〃 年目)

3 実施場所

城見地区(用之江・大冨・茂平・城見台)

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 216 人 (ア+イ)  
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 16 人 (ア)  
 その他関係人数(当日参加者等)： 200 人 (イ)  
 ○団体： (団体名) 各4地区自治会 , (団体名) 各4地区自主防災会  
 (団体名) 各4地区子ども会 , (団体名)

5 実施内容

通学路草刈り 5/14、10/27  
 7/31(日) SNSセミナー 参加人数34名  
 8/7(日)防災セミナー 講師 総社市下原自主防災組織副本部長 参加人数100名  
 通学路パトロール 8/20

6 決算額

70,184 円 (うち交付金分 70,184 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	4地区個別の避難訓練は、新型コロナウイルスの影響で用之江地区しか出来なかったが、総社市下原の自主防災組織の方を講師に招き避難訓練成功事例を聞いたことで、防災意識が向上した。 インターネット・SNSの弊害を親子一緒に学んだ事で、親子で話し合いの場を持つ事が出来た。 通学路の草刈りや、パトロールを実施して小中学生の安全が確保された。
【課題】	これまで何もなかったという事で、各世帯が自身も被災をするという認識がない。 避難時避難支援を必要とする人に対し、誰が支援するのか明確にする必要がある。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災・安全安心活動

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 73,000	70,184	2,816	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	73,000	70,184	2,816	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	24,000	10,000	14,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	8,000	0	8,000	〃
需用費	39,000	60,184	△ 21,184	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	2,000	0	2,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	73,000	70,184	2,816	決算額のうち市交付金分 ② 70,184

市交付金の余剰金 ①-② 2,816 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 2,816 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 防災・安全安心活動

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	8	7	講師	防災セミナー講師料	10,000	10,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						10,000	



# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 防災・安全安心活動

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	15	笠岡市城見公民館	会議案内印刷代	300	300
2	4	8	23	ココデカウヤフー店	A4コピー用紙5000枚	3,077	3,377
3	4	10	30	楽天	エプソンインク4色パック3セット	5,650	9,027
4	4	11	28	イトトレンドヤフー店	エプソンインク単色4本	7,676	16,703
5	5	2	21	ホリデイ	チェーンソー替刃、チェーンソー替刃、チェーンソーオイル	27,541	44,244
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						44,244	



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	防災・安全安心活動

活動目的	防災活動を通じ、地区住民の防災意識の向上・知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団と連携し、防災について学び、自助・共助の力を培う。 インターネット・SNSの弊害を学び、子ども達を守る知識の浸透を図る。
実施内容	通学路草刈り 5/14、10/27 7/31(日) SNSセミナー 参加人数34名 8/7(日)防災セミナー 講師 総社市下原自主防災組織副本部長 参加人数100名 通学路パトロール 8/20

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 4地区個別の避難訓練は、新型コロナウイルスの影響で用之江地区しか出来なかったが、総社市下原の自主防災組織の方を講師に招き避難訓練成功事例を聞いたことで、防災意識が向上した。 インターネット・SNSの弊害を親子一緒に学んだ事で、親子で話し合いの場を持つ事が出来た。 通学路の草刈りや、パトロールを実施して小中学生の安全が確保された。	<b>現状と課題</b> これまで何もなかったという事で、各世帯が自身も被災するという認識がない。 避難時避難支援を必要とする人に対し、誰が支援するのか明確にする必要がある。
---	---

**今後の活動の方向性・改善策**

通学路の草刈り、パトロールは今後も継続する。  
我が家の防災計画(個別避難計画)を全戸配布して各家庭に防災計画をたてて貰う。  
災害時支援を必要としている本人を訪問して支援して下さる方の希望を聞いた上で、支援者の了解を得る。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り活動
前年からの繰越金	○あり      ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	自宅にこもりがちな高齢者を訪ねて、安否確認・コミュニケーションをとる。高齢者の集う活動・会を紹介し、参加を促す。
【効果】	高齢者宅を訪問し、顔を見て世間話をする事で、状況の把握ができ地域で見守ることができる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日      ～      令和 5 年 3 月 31 日  
 （計画期間 〃 年中 〃 年目）

3 実施場所

城見地区(大冨・用之江・城見台・茂平)

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 450 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 90 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 360 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 各4地区の女性会 ， （団体名） 各4地区福祉委員  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

手土産を持ち、自宅にこもりがちな高齢者宅に訪問し、安否確認・世間話をし、見守り活動とする。  
 又、百歳体操・いきいきサロン等を紹介し参加を促す。  
 手土産及び訪問頻度は各地区のスタッフのできる範囲内とし、①手作り弁当(若干の料金を頂く) ②手作りお菓子  
 ③誰もが使う日用消耗品 とする

6 決算額

97,382 円（うち交付金分 49,682 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	独居高齢者の安否確認が出来た。 今年度すべての地区で実施出来た。
【課題】	各地区で実施内容に差があるのに、支援金を平等にしている。 地区によってはスタッフの負担が大きく、実施回数に限界がある。



様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り活動

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 78,000	49,682	28,318	当該年度分
その他収入	24,000	47,700	△ 23,700	
利用者負担額	24,000	20,800	3,200	用之江弁当代@100×延208名
用之江女性会自己負担	0	26,900	△ 26,900	その他食材10,220円分を提供いただきました
			0	
計	102,000	97,382	4,618	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	102,000	96,382	5,618	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	0	1,000	△ 1,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	102,000	97,382	4,618	決算額のうち市交付金分 ② 49,682

市交付金の余剰金 ①-② 28,318 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 28,318 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	高齢者見守り活動

活動目的	自宅にこもりがちな高齢者を訪ねて、安否確認・コミュニケーションをとる。 高齢者の集う活動・会を紹介し、参加を促す。
実施内容	手土産を持ち、自宅にこもりがちな高齢者宅に訪問し、安否確認・世間話をし、見守り活動とする。 又、百歳体操・いきいきサロン等を紹介し参加を促す。 手土産及び訪問頻度は各地区のスタッフのできる範囲内とし、①手作り弁当(若干の料金を頂く) ②手作りお菓子 ③誰もが使う日用消耗品 とする

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 独居高齢者の安否確認が出来た。 今年度すべての地区で実施出来た。	<b>現状と課題</b> 各地区で実施内容に差があるのに、支援金を平等にしている。 地区によってはスタッフの負担が大きく、実施回数に限界がある。
---	--

## 今後の活動の方向性・改善策

今後も同様の活動を続ける。  
支援金も基本的には各地区平等にする。